※令和４年度以降入学生用

学校番号	3032

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	(学)日本史詳論	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	『詳説日本史』（山川出版社）						
副教材等	図説日本史通覧（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歴史総合」、「日本史探究」で習得した知識をもとに、現代とのつながりで、特に関連の深い江戸時代後半と近現代の学習を中心に、日本史の理解をさらに深める。
・歴史を背景とし、現在の日本の在り方を考える。

2　学習の到達目標

（１）江戸時代後半と近現代の諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。
（２）江戸時代後半と近現代の事象の意味や意義，伝統と文化の特色などを，歴史的な見方・考え方を働かせて多面的・多角的に考察，構想，表現する。
（３）江戸時代後半と近現代の諸事象について、諸事象について，よりよい国家や社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うともに，我が国や他国の伝統や文化を尊重する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	我が国の江戸時代後半と近現代の歴史の展開に関する諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解しているとともに、調査や諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	我が国の江戸時代後半と近現代の歴史の展開に関する事象の意味や意義，伝統と文化の特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し，その解決に向けて構想したり，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりしている。	我が国の江戸時代後半と近現代の歴史の展開に関する諸事象について、国家及び社会の形成者として，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第10章　幕藩体制の動揺	1　幕政の改革 2　宝暦・天明期の文化 3　幕府の衰退と近代への道 4　化政文化	a:飢饉や一揆の発生、幕府政治の動揺と諸藩の動向、学問・思想の展開、庶民の生活と文化などを基に、幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解する。 b:社会・経済の仕組みの変化、幕府や諸藩の政策の変化、国際情勢の変化と影響、政治・経済と文化の関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 c:近世の国家・社会の変容に関わる諸事象について、諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
	第Ⅳ部　近代・現代　第11章　近世から近代へ	1　開国と幕末の動乱 2　幕府の滅亡と新政府の発足	a:対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政権の成立などを基に、近世から近代への時代の時代の転換を理解している。 b:欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、近世から近代の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 近代への転換と歴史的環境について，見通しを持って学習に取り組み，課題を主体的に追究する。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
	第12章　近代国家の成立	1　明治維新と富国強兵 2　立憲国家の成立	a:明治政府による中央集権化の諸政策と士族反乱の終焉、欧米・アジア諸地域との国際関係、文明開化の風潮、自由民権運動の展開や大日本帝国憲法の制定と議会開設に至る過程について、諸資料から情報を読み取って理解している。 b:諸制度の改革が地域社会にもたらした変化や諸外国と結んだ条約の相互比較、欧米の思想・文化の影響などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:明治維新や近代国家形成の変化関わる諸事象について、諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物

※令和４年度以降入学生用

2学期	第13章 近代国家の展開	1 日清・日露戦争と国際関係 2 第一次世界大戦と日本 3 ワシントン体制	a:条約改正、日清・日露戦争を基にアジアや欧米諸国との関係の変容や、第一次世界大戦が日本に及ぼした影響に着目して、大戦後の国際的な協調体制における日本の立場や対外政策の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、理解している。 b:アジアや欧米諸国との関係、戦争が及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、政党政治の展開と国際的地位の確立、第一次世界大戦前後の対外政策や国内経済、国民の政治参加の拡大について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 c:対外戦争がもたらした国内的・国際的な変化や東アジア・太平洋地域における国際協調体制に関する諸事象について、諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
	第14章 近代の産業と生活	1 近代産業の発展 2 近代文化の発達 3 市民生活の変容と大衆文化	a:産業革命の展開、交通の整備、学問の発達、教育制度の確立、社会問題の発生、芸術・出版・マスメディアの発展などを基に、国民国家の形成や近代の文化や社会の特色について理解する。 b:産業の発達の背景と影響、労働や生活の変化、教育の普及とその影響などに着目して、主題を設定し、日本の工業化の進展、近代の文化の形成について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 c:産業の発展とそれによる社会問題への対応、明治期の文化、大衆社会に関する諸事象について、諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物

※令和４年度以降入学生用

3学期	第15章 恐慌と第二次世界大戦	1 恐慌の時代 2 軍部の台頭 3 第二次世界大戦	a:恐慌と国際関係、軍部の台頭と対外政策、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解する。 b:国際社会やアジア近隣諸国との関係、政治・経済体制の変化、戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、主題を設定し、第二次世界大戦と日本の動向の関わりについて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 C:満洲事変や国内の国家改造運動の展開や第二次世界大戦期の国際関係に関する諸事象について、諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
	第16章 占領下の日本	1 占領と改革 2 冷戦の開始と講和	a:占領政策と諸改革、日本国憲法の成立、平和条約と独立の回復、戦後の経済復興などを基に、我が国の再出発及び国民生活の変容を理解する。 b:第二次世界大戦前後の政治や社会の類似と相違、冷戦の影響などに着目して、主題を設定し、戦前と戦後の国家・社会の変容、戦後政治の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 c:戦後日本の変化に関わる諸事象について、諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
	第17章 高度成長の時代	1 55年体制 2 経済復興から高度経済成長へ	a:保守政権の誕生に至る経緯、アジア諸国との関係、高度経済成長などを基に、政治・経済や対外関係、国民生活の変容を理解する。 b:国民の生活や地域社会の変化などに着目して、主題を設定し、日本経済の発展について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 c:55年体制の歴史的意義や保守政権の安定化、高度経済成長がもたらした国内・国際的な日本の変化に関わる諸事象について、諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物

※令和４年度以降入学生用

第18章 激動する世界と日本	1 経済大国への道 2 冷戦の終結と日本社会の変容	a:社会・経済・情報の国際化などを基に、1970 年代以降の政治・経済や対外関係、現代の政治や社会の枠組み、国民生活の変容を理解する。 b:国際社会の変化、グローバル化の進展の影響、国民の生活や地域社会の変化などに着目して、主題を設定し、国際社会における我が国の役割について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 c:現代日本の変化に関わる諸事象について、諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度